

日本語

3針/3針日付表示



日付の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズ奥に回して日付を合わせます。
3. リュウズを1の位置に押し戻します。

時刻の設定

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. リュウズを後ろに回して針を進め、日にちが変わるまで回し続けます。
3. 時分針を正しい時刻にセットします。
4. リュウズを1の位置に押し戻します。

注意: 時計に日付機能が装備されていない場合の時間設定は、リュウズをポジション2の位置まで引き出します。

自動巻き



1. 時計が完全に停止している場合、時計を動作させるには、リューズをポジション1で時計回りに約40回(または抵抗を感じるまで)巻き上げます。完全に巻き上げた状態で、およそ40時間のパワーリザーブを備えています。

日付の設定

1. リューズを2の位置まで引き出します。
2. リューズ奥に回して日付を合わせます。
3. リューズを1の位置に押し戻します。

時刻の設定

1. リューズを3の位置まで引き出します。
2. 時計回りまたは反時計回りに回して時間を調整し、日が現在の日に変わるまで続けます。
3. 時分針を正しい時刻にセットします。
4. リューズを1の位置に押し戻します。

注意: 時計に日付機能が装備されていない場合の時間設定は、リューズをポジション2の位置まで引き出します。

注意: 自動巻き時計は、腕の動きから自動的に巻き上げの力を得るため、電池は使用しません。そのため、時計を装着しない日が続くと、パワーリザーブを使い切ってしまう場合があります。腕のサイズに合うように時計を調節することが重要です。腕時計がゆるいと自動巻きの機能が十分に発揮されない場合があります。

耐水性

従来の機械式ウォッチおよびハイブリッドスマートウォッチの防水性能については、裏ふたをご参照ください。ディスプレイ・スマートウォッチの防水性能については、当社ウェブサイト (fossilgroup.com/water) をご参照ください。

耐水性レーティングは、ウォッチの内部コンポーネントへのダメージを防ぐための耐水性のガイドラインになります。推奨用途のガイドラインは表をご覧ください。

ウォッチの内部への浸水によるダメージを防ぐため、以下の指示に従ってください：

- 水に濡れた状態でクラウンを調整しないでください。
- 水に濡らす前にクラウンが閉じていることを確認してください。スクリューダウンクラウンの場合、水に濡らす前にクラウンがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- プッシュボタン機能対応のスマートウォッチの場合、水中でボタンを操作しないでください。
- 極端な環境（熱いお湯、サウナ、スチームルームなど）でのご使用はお奨めしません。
- 圧力のかかった水（水道から出てくる水、波、滝など）にはさらさないでください。
- 塩水に長時間さらさないでください。塩水に触れた場合、5ATM 以上の場合は水で洗い流して柔らかい布で拭いてください。

水関連の推奨用途				
表記	耐滴  (手洗い)	潜水可能  (水泳)	浅いダイビング  (シュノーケリング)	スクーバダイビング  (深海を除く)
(なし)				
3 ATM ・ 3 BAR ・ 30メートル	✓			
5 ATM ・ 5 BAR ・ 50メートル	✓	✓		
10 ATM ・ 10 BAR ・ 100メートル	✓	✓	✓	
20 ATM ・ 20 BAR ・ 200メートル	✓	✓	✓	✓

お取り扱い上の注意

- 水中ではボタン操作、時刻合わせ、ベゼルを回転させるなどの動作は行わないでください。また時計が塩水に浸かった場合は使用後、必ず真水ですすいでください。
- 風呂、サウナ内での着用、および放置はおさけください。高温と湿度(水分)が組み合わさることにより、防水機能に支障が生じる場合があります。
- PM8:00から翌AM3:00までの間に針の逆回しや日付の調整を行うことはお避けください。構造上、時計の作動にダメージを与える場合があります。
- 携帯電話、パソコン、テレビ、オーディオ機器、磁気プレスなど、強い磁気近づけますと進み遅れの原因となりますので、ご注意ください。
- 化学薬品、ガス(シンナー、ベンジン等)に時計が触れないようご注意ください。
- -5℃以下、+50℃以上の温度下に放置すると、時計本体およびデジタル表示部分の機能が低下する場合があります。
- 革、金属かぶれ、アレルギー
 - ◇ ケース、バンドは直接肌に接しています。汚れたままにしておくとしみて衣類の袖口を汚したり、皮膚の弱い方はかぶれる場合もありますので、常に清潔にご使用ください。
 - ◇ 万一、肌などに異常が生じた場合は、直ちに着用を中止し、医師にご相談ください。
- 日常のお手入れ
 - ◇ 革バンドは乾いた布などで水分を吸い取るように拭いてください。こすると色落ちしたり、つやが失われたりするおそれがあります。
 - ◇ 金属バンドは柔らかい歯ブラシなどを使い石鹸水で部分洗いをするなどのお手入れをときどき行ってください。非防水の時計の場合には時計本体(ケース部分)に水がかからないようにご注意ください。また、洗浄後は駒の隙間に水分が残っている場合がありますので、通気性のよい所で十分乾燥させてください。
 - ◇ ケース、バンドについた汚れ、汗、水分などは錆の原因になりますので、吸湿性のよい柔らかい布などで拭き取ってください。
 - ◇ ウレタンやプラスチック素材のバンドは特に手入れの必要はありませんが、汚れのひどいときは石鹸水で洗ってください。素材の性質上、通常数年使用すると硬化したり、色が褪せたりする場合がありますので、その際はバンド交換を行ってください。
- 電池は時計から取り出さないでください。取り出した場合には幼児の手が届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。電池が切れたまま長期間放置すると漏液などで故障の原因となることがありますので、お早めに交換をご依頼ください。